

市立中学校における「明石市標準服」の導入について

本市では、すべての人が性別に関わりなく互いの個性を尊重し、いきいきと生活を送ることができるジェンダー平等社会の実現に向けた取組を進めているところです。

現在、各市立中学校においては、性別に関わらず着用することができる「ジェンダーレス制服」について、導入または検討しているところであり、本市においても、生徒の多様な選択肢の一つとして選ぶことができる「明石市標準服(制服)」の導入を進めていきます。

1 「明石市標準服」の位置づけ

現行の各中学校の制服に加え、保護者や生徒が希望する場合には、「明石市標準服」を着用して学校生活を送ることができるもの。各中学校においては、現行の制服と「明石市標準服」が混在することとなりますが、状況に応じた柔軟な対応を図っていきます。

2 「明石市標準服」のデザイン・仕様等

デザイン・仕様等については下記のポイントを踏まえ、決定に向けた作業を進めていきます。

- (1) 性別に関わりなく着用することができるもの、いわゆるジェンダーレスであること。
- (2) 令和5年4月に、希望するすべての生徒が着用可能となるように、供給・流通体制が整備できるもの。
- (3) 多くの生徒、保護者、教職員、市民等に支持される、機能性・デザイン性・耐久性等を備えたもの。
- (4) 現行の各中学校制服の平均的な価格帯で購入可能なもの。

3 導入に向けたスケジュール

○令和4年2月～3月

明石市標準服検討準備会(作業部会)

児童生徒と保護者の意見(アンケート)、及び上記のポイントを踏まえ、デザイン・仕様等の案を作成。

(検討準備会の構成) 教育委員会事務局職員、LGBTQ+/SOGIE施策担当職員、教職員、制服メーカー等

○令和4年4月～7月

明石市標準服検討委員会

作業部会の案を参考に、明石市標準服としてふさわしいと考えられるデザイン・仕様等に対する提言を策定。

※提言策定の過程で、デザイン・仕様案に関する児童生徒・保護者を対象としたアンケートの実施を予定。

(検討委員会の構成) PTA代表、学校長、学識経験者等

○令和4年8月

明石市標準服検討委員会の提言を受け、教育委員会において「明石市標準服」のデザイン・仕様等を決定。

○令和5年4月(予定)

明石市標準服の導入